

日本MFCAフォーラム共催ワークショップ

コースコード : GP1500

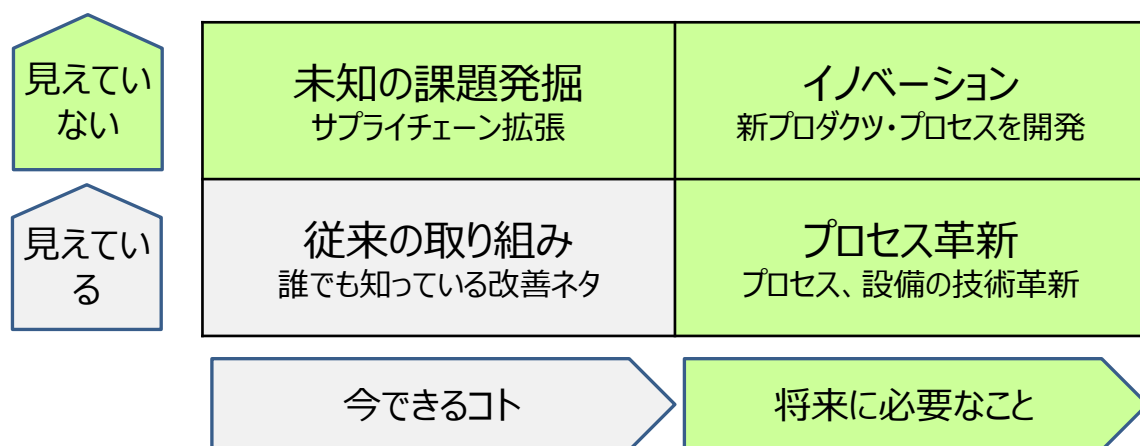
GP環境戦略で省資源仕掛け力強化

Green Process & Green Product実践戦略を描き
省資源・省エネの取り組み促進の実践力を高めます

MFCA思想やTPS思想を融合し、GP環境戦略を描くことで、競争力強化、成長戦略につながる省資源・省エネの取り組みと組織的な仕掛け人材育成を図ります。

- MFCA思想 : Material Flow Cost Accounting : 俯瞰・流れ・層別思想
- TPS思想 : Toyota生産方式の真髄を学び、継続的改善力を高める方法論

省資源・省エネの改善課題を自ら発掘し、展開する組織能力を磨く



● 講師/ファシリテーター



下垣 彰
チーフコンサルタント
専門 : Green革新戦略
技術・モノづくり革新企画



鈴木 稔
チーフコンサルタント
専門 : 未来市場探索
開発戦略・商品企画プロセス

お問合せ・お申込み **03-3459-8178**

(株)フューチャーマネジメントアンドイノベーションコンサルティング
〒105-0001東京都港区虎ノ門4-2-12 虎ノ門4丁目MTビル2号館
TEL (03)3459-8178 FAX (03)3459-8179
URL : <http://www.fmic.jp/> E-mail : info@fmic.jp 担当 : 浅野

公開コース開催予定
①2015年7月16日~17日 東京
②2015年11月5日~6日 東京
出前コース : 随時申込み受付中

GP環境戦略で省資源仕掛け力強化 1/3

◆コース概要

●省資源・省エネの環境戦略練り上げと革新リーダー育成

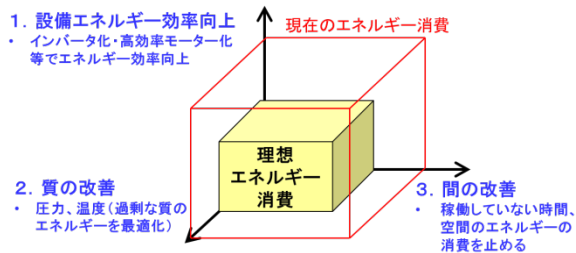
- ・全工場・全プロセスを俯瞰した改善展開の考え方を学びます。
- ・モデル構築と横展開という改善を効率的に展開する方法に革新します。
- ・ハッと気づかせ、エッと考えさせる改善余地の見せ方を学びます。
- ・トップを惹き込み、ラインを巻き込む仕掛け人材を育てます。

●GP俯瞰シンカマップで改善モデル展開と改善加速

省資源・省エネの改善ノウハウを、全工場、プロセスに伝導させ、効率的に展開させるツールが俯瞰シンカマップです。

省資源・省エネ7視点で磨くMottainai眼力で、見えていない改善課題を発掘し、省資源・省エネの取り組みのアップグレードを図ります。

◆ワークショップで習得する基本手法とスキル



省資源・省エネ7つの視点

資源ロスの改善着眼（マテリアルの4つのロス、省エネの3視点）を活用し、今までの取り組みを見える化する事で、できていない・やってこなかった改善課題を裏読みします。

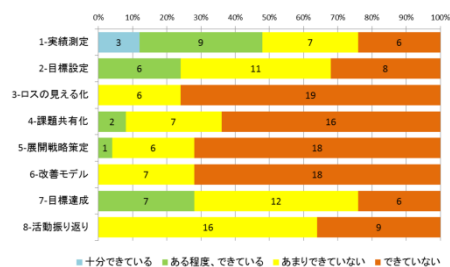
	事業所と生産特性							ロス特性と改善の展開戦略			
	工場A	工場B	工場C	工場D	工場E	工場F	工場G	管理	容認	盲点	無管理
機械加工	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●
鋳造	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●
鍛造	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●
板金プレス	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●
塗装	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●

検討要素

- ・マテリアルロスが生じやすいプロセス
- ・エネルギー消費の大きさ、ロスの特性
- ・どのような改善が効果的か？
- ・生産特性の影響（大量生産・多様少量生産）

GP俯瞰シンカマップ

工場・プロセス全体を俯瞰するプロセスmapを使って、改善余地が高く、モデル化価値が高い領域を絞り、その改善モデルの横展開戦略を考えます。



省資源・省エネマネジメント診断

従来の取り組み方が、戦略なき改善で、大きな改善効果が期待できない取り組みで、横展戦略とそれに基づくモデル開発の必要性を認識します。

GP環境戦略で省資源仕掛け力強化 2/3

◆交流ワークショッププログラム

1. 参加者相互紹介と課題交流
2. GP俯瞰シンカマップの理論と実践
 - ・未来思考のGP改善余地分析（金額面・マネジメント面）
 - ・今と未来/顧客と技術/全事業所の俯瞰シンカマップ作成
 - ・TPS思想とシンカ実践シナリオによる推進人材育成プログラム
3. GP環境戦略の適用分野と事例研究
 - ・プロセス革新への適用と機械A社事例（重点：省資源・省エネ）
 - ・プロダクト革新への適用と電気B社事例（重点：環境事業開発）
 - ・シンカ型革新のジレンマ突破法と戦略課題ばらしの進め方
4. 自社への応用計画
 - ・トップと連携し、ライン全員主役のストーリーを描く
 - ・各社の実践構想と相互交流

◆交流ワークショップ開催概要

受講完了いただいた方には、GP実践戦略リーダー認定証を発行しています。

●公開コース：2日間コース例

- ・体系理解と基本習得および社内実践計画の立案が可能です。
- ・他社からの参加者との交流等により、社内外の課題や目標をレベルリングできます
- ・公開ワークショップにおける演習はFMICが準備した一般化された事例にて実施します。
- ・参加費用：8万円/2日間/1名 基本テキスト代・懇親ランチ代を含む・
- ・貴社での効果的展開のために複数名参加をお勧めします（複数名割引あり）
- ・希望者向けに「3か月後の実践結果」をふまえた発展課題を指導します。

開催時間 10時～17時	1日目	2日目	3か月後 研究会
	AM	改善領域を拡張する ・省資源マネジメント ・活動領域診断	
PM	・省資源省エネの7視点 ・マネジメントレベル診断 ・改善余地check	・ケーススタディ ・仕掛けの関係者map ・GP戦略仕掛け計画	希望者のみ 現地訪問またはWEB会議方式

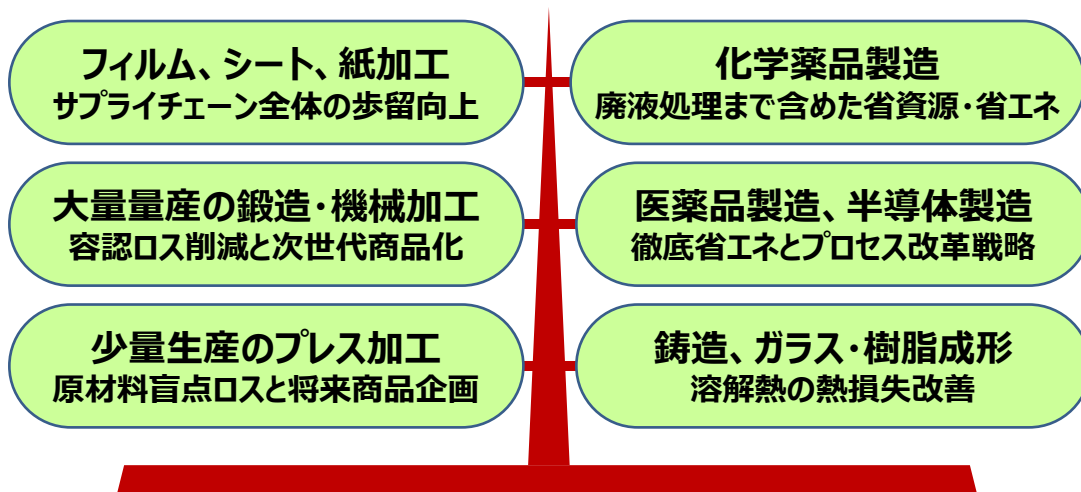
●出前型の社内ワークショップの申込み受付中

- ・貴社のニーズや課題に応じてアプリケーション開催が可能です。
- ・貴社の実務課題を題材に実務直結のワークショップが可能です。
- ・1日型～6日型まで貴社のニーズに応じて設計します。詳細はお問い合わせください。

GP環境戦略で省資源仕掛け力強化 3/3

◆お役立ち：見えないロス×次世代商品×改革人材

GP環境戦略は、下記のような業種、プロセス分野で効果を発揮しています



◆ワークショップ2014参加者の声 「やっている」ではなく「やるべきことに挑戦する」へ

- ◆俯瞰思考を通じて組織的な改革に発展
 - ・未来思考と俯瞰思考での視点で「やれる」ではなく「やるべき」課題がわかった
 - ・資源効率向上や事業改革にどのように取り組めばよいか分かった
 - ◆知識や情報共有ではなく「共振できた」
 - ・今までは悩みを共有レベルだったが、課題突破のヒントが見つかった
 - ・今までは知識レベルだったが、改善実践シナリオできて良かった
 - ◆未来の問題に気がついた
 - ・現状の問題ばかり見ていたが、見えていなかった未来のロスが見えたことに驚いた
 - ・限界までできていると思っていた材料歩留が、まだ改善余地があることに驚いた
 - ◆動機付け、意識づけができた
 - ・省エネをどの様に意識づけたらよいか悩んでいたが、進むべき方向ときっかけができた
 - ・環境イノベーションと事業化への取り組みを推進させる動機づけができた
- 等

参加のおすすめ



FMIC代表取締役CEO 大岩和男

未来革新ワークショップは、企業や組織の未来開発力と人材育成を加速させたいと願う人々の知と工夫が結集されたものです。未来革新ワークショップへの皆様の参加をお待ちしております。



日本MFCフォーラム事務局長 立川 博巳

環境経営は長く叫ばれてきていますが、その実践力や事業イノベーションへの展開は不十分です。GP環境戦略とその実践法をともに研究し、実践し、自社の競争力向上及び地球や企業の未来に貢献していきましょう。